

令和3年度後期分 大学院における特別授業料免除等について

この特別授業料免除制度は、本学大学院に在籍中で、学業成績等が優秀であると認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考を行った上、授業料の半額を免除する制度です。

しかし、免除実施可能額の範囲内で選考しますので、適格者全員を許可することはできません。

また、前期・後期分ごとに審査しますので、申請を忘れないようにしてください。

なお、規程改正等により、この冊子の内容が変わる場合は、学内掲示や“大教 UNIPA”でお知らせします。

特別授業料免除に関する問い合わせ先(申請受付とは時間が異なります。)

☆柏原キャンパス所属の学生

学生支援課奨学厚生係 TEL 072-978-3305

(取扱時間 平日 9 時～12 時, 13 時～17 時)

☆天王寺キャンパス所属の学生

天王寺地区総務課大学院係 TEL 06-6775-6634

(取扱時間 平日 13 時 00 分～21 時 30 分)

授業料免除等の選考結果は、申請者全員に、12月下旬～1月ごろに本人あてに郵送します。

大 阪 教 育 大 学

(1) 特別授業料免除

1 免除対象者

本学大学院に在籍している者で、学業成績等が優秀であると認められる者
ただし、次の者については選考の対象としません。

- ① 令和3年度後期分の授業料をすでに納付している者
- ② 令和3年度前期分の授業料を滞納している者
- ③ 在籍期間が修業年限を超えている者
(休学など特別な事由があると認められる者を除く。但し、転籍は特別な事由とは認めない。)
- ④ 申請書類の提出後、大学から別途書類の提出について指示を受けても提出しなかった者

2 選考方法

研究論文、研究の成果、著作物、発明、授業科目の成績、研究又は教育に係る補助業務の実績、芸術の発表会やスポーツの競技会における成績、ボランティア活動等社会的貢献活動の実績などを評価し、総合判定に基づいて選考します。(経済的事情は審査の対象外です。)

本制度により免除が許可された場合は、申請学期分の授業料の半額が免除されます。

3 受付期間等

申請については原則郵送とします。郵送の場合は申請書類一式を封筒に入れ、朱書きで「令和3年度特別授業料免除申請書類 在中」と記載し、下記住所まで特定記録もしくは簡易書留にて郵送してください。期間内必着といたします。受付期間終了後の申請は、いかなる理由があっても認めませんので注意してください。

- ◆受付期間 令和3年9月13日(月)～令和3年10月14日(木)
(郵送先)
学生支援課奨学厚生係窓口(土・日・祝日を除く)
住所 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
電話 072-978-3305
Mail syogaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

やむを得ず持参にて提出する場合は、下記所属キャンパスにて受付期間中に提出してください。

(1) 柏原キャンパス所属の学生

- ◆受付期間 令和3年9月13日(月)～令和3年10月14日(木)
- ◆受付場所・時間 学生支援課奨学厚生係 8:30～13:00 及び 14:00～17:00

(2) 天王寺キャンパス所属の学生

- ◆受付期間 令和3年9月13日(月)～令和3年10月14日(木)
- ◆受付場所・時間 天王寺キャンパス中央館一階事務室窓口 13:00～21:30

※真にやむを得ない事情で上記受付期間に申請できない場合は、必ず事前に学生支援課奨学厚生係(天王寺キャンパスの学生は天王寺地区総務課大学院係)にご相談ください。

※ 受付期間終了後の申請は、いかなる理由があっても認めませんので注意してください。

4 提出書類

- ① 令和3年度後期分特別授業料免除等申請書〔様式1〕
- ② 特別授業料免除等に係る推薦状（指導教員の推薦状）〔様式2〕
- ③ 特別授業料免除等に係る事情説明書〔様式3〕
- ④ 令和3年度後期分大学院における特別授業料免除業績一覧〔様式4〕

様式4は申請前に「syogaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp」宛てにメールで送付しておいてください。
申請時には紙ベースで提出してください。

申請書の記入については、様式1の本人氏名欄と様式2、様式3の指導教員氏名欄は自署又は記名捺印が必要です。

- ⑤ 学業成績等を証明する書類

申請するすべての業績等について、申請者自身の業績であることが確認できる証明書類を提出してください。（証明書については、後掲の「提出証明書類及び〔特に優れた業績の要旨〕の記入上の注意」〔別紙1〕の「業績を証明する書類」を参考にしてください。）

各証明書類には、特別授業料免除等申請書〔様式1〕の【教育研究活動等の業績】のどの業績の証明書類かがわかるように、右肩にア～ケのいずれか対応する業績の種類を付してください。

外国語表記の証明書類は、和訳を添付してください。

5 申請書類作成に際しての注意事項

- （1）令和3年度後期分特別授業料免除等申請書〔様式1〕

- ① 【授業料徴収猶予の希望の有無】

特別授業料免除の結果決定後、速やかに所定の授業料を納付しなければなりません。納付することが困難な場合は、授業料免除申請と同時に徴収猶予を申請してください。

授業料徴収猶予を希望する場合は、有に○をつけてください。

- ② 【教育研究活動等の業績】

今回の申請について、該当する業績の項目に○を記入してください。

なお、「教育研究活動等の業績」は、本学大学院在籍中のものに限り、（過去、本学大学院に在籍していたことがあっても、当時の業績は適用されません。）

教育研究活動等の業績については、一度本制度で適用され、免除許可となった場合は、次回以降は同一の業績は適用されませんので、注意してください。

- ③ 【特に優れた業績の要旨】

【教育研究活動等の業績】で○を記入したすべての業績について、業績ごとの要旨を記述してください。後掲「提出証明書類及び〔特に優れた業績の要旨〕の記入上の注意」〔別紙1〕の「記入上の注意」を参考にしてください。

※業績の要旨に記述があっても、それを証明する書類が提出されなかった場合は、その業績は審査の対象外となります。

- （2）特別授業料免除等に係る推薦状（指導教員の推薦状）〔様式2〕

申請者の本学大学院在籍中の研究活動、論文及び社会貢献活動等について客観的な評価を求め、特に優れた業績による授業料免除の推薦理由を記述してもらってください。ただし、経済的な面の困窮状況は審査の対象外であることを指導教員にご留意いただいた上で記述してもらってください。

- （3）特別授業料免除等に係る事情説明書〔様式3〕

下記の場合に提出してください。

- ① 業績オのうち国家資格以外の資格試験又は採用試験に合格した場合
- ② 業績カのうち委嘱状のない学外教育補助業務に携わった場合
- ③ 業績ケのうち委嘱状のないボランティアに携わった場合

後掲「提出証明書類及び〔特に優れた業績の要旨〕の記入上の注意」〔別紙1〕の「記入上の注意」に基づき、指導教員に記述してもらって下さい。

6 他の授業料免除制度との併願について

- (1) 令和3年度後期分授業料免除（一般選考）との併願が可能です。（一般選考は学力と家計評価の両方が選考の対象となります。）
- (2) 一般選考と併願した場合，特別授業料免除の判定が優先されます。

【例】

大学院特別免除	一般免除	最終結果
半額免除	全額免除	全額免除 (うち半額が特別免除の判定)
	半額免除	半額免除 (特別免除の判定)
	免除不許可	半額免除
免除不許可	全額免除	全額免除
	半額免除	半額免除
	免除不許可	免除不許可

- (3) 併願希望者は，特別授業料免除及び一般選考について，必ずそれぞれの申請期間に申請してください。

7 その他

- (1) 特別授業料免除等申請者（申請書類を受理された者）については，免除許可の可否を決定するまでの間，授業料の徴収を猶予します。
- (2) 一度受け付けた申請書類は，いかなる事情があっても返却しません。

(2) 特別授業料徴収猶予の申請について

特別授業料免除制度で免除できる金額は各学期の半額です。授業料免除結果の決定があった後，速やかに所定の授業料を納付しなければなりません。速やかに納付することが困難な場合は，特別授業料免除申請と同時に特別授業料徴収猶予を申請してください。

授業料徴収猶予を希望する場合は，令和3年度後期分特別授業料免除等申請書の「授業料徴収猶予の希望有無」欄の“有”に○を付けてください。

授業料徴収猶予が許可された場合は，令和4年2月末日まで授業料の徴収が猶予されます。

(なお，令和4年2月の授業料口座引落日は2月10日（木）です。)

《授業料免除等申請者の個人情報について》

本学では，特別授業料免除等申請書類から取得した個人情報については，特別授業料免除等業務のみに利用します。上記個人情報については，法令に基づく場合を除き，目的外の利用及び第三者へ提供することはありません。

令和3年度後期分 特別授業料免除等申請書

申請日 令和 3 年 月 日

大阪教育大学長 殿

下記の記載事情に相違ありません。令和3年度後期分大学院における特別授業料免除を申請します。

本人氏名 _____
(自署)

専攻		コース		学籍番号	
フリガナ			本人 現住所	〒 携帯番号	
氏名					
【授業料徴収猶予の希望の有無】※ 有 ・ 無					
以前に特別授業料免除申請をしたことがある場合は申請年度を記入してください。 平成・令和 年度 前期 ・ 後期					

【教育研究活動等の業績】 下記の業績の種類に対応する業績内容について、申請する業績に○をつけてください。
※印は、どちらかに○をつけてください。

業績の種類		業績の内容		申請する 業 績
ア	研究論文	学内	研究論文が優れている	
		学外	学会誌、学術雑誌等に論文掲載し評価される 国内外で研究発表し評価される	
イ	大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条に定める特定課題についての研究成果	学内・学外	特定の課題についての研究成果が優れている	
ウ	著書、データベースその他の著作物 (上記2つに掲げるものを除く。)	学内・学外	著書を出版又は、データベースへ登録される ※(学内 ・ 学外)	
		学内	大学発行誌に掲載される	
		学外	学会誌、学術雑誌、新聞等に掲載される	
エ	発明	学外	特許取得	
			実用新案取得	
オ	授業科目の成績	学内	学業成績が優秀である	
		学外	教員採用試験又は専攻分野に関連した資格試験・採用試験に合格する	
			他大学の大学院(後期博士課程)入学試験に合格する	
カ	研究又は教育に係る補助業務の実績	学内・学外	ティーチングアシスタントに採用される ※(学内 ・ 学外)	
		学内・学外	留学生チューターに採用される ※(学内 ・ 学外)	
		学内・学外	教育又は研究活動に係るその他の補助業務に携る ※(学内 ・ 学外)	
キ	音楽、演劇、美術、その他の芸術の発表会における成績	学外	国際、全国コンクールに出場する	
			地方コンクールに入賞する ※地方コンクールは受賞した場合のみ該当	
			個展、音楽会等を開催又は参加し評価される	
ク	スポーツ競技会における成績	学外	国際、全国競技会に出場する	
			地方競技会に入賞する ※地方競技会は受賞した場合のみ該当	
ケ	ボランティア活動、その他の社会的貢献活動の実績	学外	専攻分野に関連したボランティア活動等に参加し、学内又は社会的に高い評価を受ける	

This image shows a full page of primary-ruled paper. It features a series of horizontal dashed lines spaced evenly down the page, designed for handwriting practice. A single solid horizontal line runs across the top of the page, serving as a baseline for capital letters. The rest of the page is white, providing space for writing. There are no margins, text, or other markings on the paper.

申請日 令和 3 年 月 日

大阪教育大学長 殿

下記の記載事情に相違ありません。令和3年度後期分大学院における特別授業料免除を申請します。

本人氏名 _____
(自署)

専攻		コース		学籍番号	
フリガナ		本人 現住所	〒	携帯番号	
氏名					

【授業料徴収猶予の希望の有無】※ 有・**無**

以前に特別授業料免除申請をしたことがある場合は申請年度を記入してください。平成・**令和**2年度 前期・**後期**

【教育研究活動等の業績】 下記の業績の種類に対応する業績内容について、申請する業績に○をつけてください。
※印は、どちらかに○をつけてください。

業績の種類		業績の内容		申請する 業 績
ア	研究論文	学内	研究論文が優れている	
		学外	学会誌、学術雑誌等に論文掲載し評価される	○
			国内外で研究発表し評価される	○
イ	大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条に定める特定課題についての研究成果	学内・学外	特定の課題についての研究成果が優れている	
ウ	著書、データベースその他の著作物 (上記2つに掲げるものを除く。)	学内・学外	著書を出版又は、データベースへ登録される ※(学内・学外)	
		学内	大学発行誌に掲載される	
		学外	学会誌、学術雑誌、新聞等に掲載される	
エ	発明	学外	特許取得	
			実用新案取得	
オ	授業科目の成績	学内	学業成績が優秀である	○
		学外	教員採用試験又は専攻分野に関連した資格試験・採用試験に合格する	○
			他大学の大学院(後期博士課程)入学試験に合格する	
カ	研究又は教育に係る補助業務の実績	学内・学外	ティーチングアシスタントに採用される ※(学内・学外)	○
		学内・学外	留学生チューターに採用される ※(学内・学外)	
		学内・学外	教育又は研究活動に係るその他の補助業務に携る ※ (学内 ・学外)	○
キ	音楽、演劇、美術、その他の芸術の発表会における成績	学外	国際、全国コンクールに出場する	
			地方コンクールに入賞する ※地方コンクールは受賞した場合のみ該当	
			個展、音楽会等を開催又は参加し評価される	
ク	スポーツ競技会における成績	学外	国際、全国競技会に出場する	
			地方競技会に入賞する ※地方競技会は受賞した場合のみ該当	
ケ	ボランティア活動、その他の社会的貢献活動の実績	学外	専攻分野に関連したボランティア活動等に参加し、学内又は社会的に高い評価を受ける	○

【特に優れた業績の要旨】

[illegible]

特別授業料免除等に係る推薦状

〔様式2〕

[illegible]

(注1) 申請者の大学院在籍中の研究活動、論文及び社会貢献活動等について、特に優れた業績による授業料免除の推薦理由を記述してください。

(注2) 本制度の趣旨は、あくまでも学業成績等優秀者を免除対象とするもので、経済的な面の困窮状況は審査の対象外となります。

特別授業料免除等に係る事情説明書

〔様式3〕

[illegible]

(注) 申請者の業績について、専攻分野との関連性、重要度等を記入してください。

令和３年度後期分大学院特別授業料免除業績一覧

学籍番号	専攻	氏名

※データを係宛のメールに添付して送信すること syogaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

業績の種類		業績の内容		
ア	研究論文	学内	研究論文が優れている	
		学外	学会誌、学術雑誌等に論文掲載し評価される ※受賞した場合はその旨記入すること	
			国内外で研究発表し評価される ※受賞した場合はその旨記入すること	
イ	大学院設置基準(昭和49年 文部省令第28号)第16条に 定める特定の課題についての 研究成果	学内 学外	特定の課題についての研究の成果が優れている	
ウ	著書、データベースその 他の著作物 (上記2つに掲げる者もの を除く。)	学内 学外	著書を出版又は、データベースへ登録される	
		学内	大学発行誌に掲載される	
		学外	学会誌、学術雑誌、新聞等に掲載される	
エ	発明	学外	特許取得	
			実用新案取得	
オ	授業科目の成績	学内	学業成績が優秀である	
		学外	教員採用試験又は専攻分野に関連した資格試験・採用試験に合格する	
			他大学の大学院(後期博士課程)入学試験に合格する	
カ	研究又は教育に係る補助 業務の実績	学内	ティーチングアシスタントに採用される	
			留学生チューターに採用される	
			大学の教育又は研究活動に係るその他の補助業務に携る	
		学外	ティーチングアシスタントに採用される	
			留学生チューターに採用される	
			教育又は研究活動に係るその他の補助業務に携る	
キ	音楽、演劇、美術その他の 芸術の発表会における 成績	学外	国際、全国コンクールに出場する ※受賞した場合は必ずその旨記入すること	
			地方コンクールに入賞する ※受賞した場合のみ該当	
			個展、音楽会等を開催又は参加し評価される	
ク	スポーツの競技会における 成績	学外	国際、全国競技会に出場する ※受賞した場合はその旨記入すること	
			地方競技会に入賞する ※受賞した場合のみ該当	
ケ	ボランティア活動その他の 社会的貢献活動の実績	学内 学外	専攻分野に関連したボランティア活動等に参加し、学内又は社会的に高い評価を受ける	

令和３年度後期分大学院特別授業料免除業績一覧

学籍番号	専攻	氏名

※データを係宛のメールに添付して送信すること syogaku@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

業績の種類		業績の内容		
ア	研究論文	学内	研究論文が優れている	「△……………」題目，〇〇学会誌・第〇号，令和2年〇月〇日発行，筆頭著者 学長表彰を受賞
		学外	学会誌，学術雑誌等に論文掲載し評価される ※受賞した場合はその旨記入すること	「△……………」題目，〇〇学会誌・第〇号，令和2年〇月〇日発行，筆頭著者 〇〇賞受賞 研究論文題目，掲載された学会誌名・巻・号，発行年を記入すること。単著・筆頭著者・共著の別を記入すること。
			国内外で研究発表し評価される ※受賞した場合はその旨記入すること	「△……………」題目，〇〇学会××研究会，令和2年〇月〇日，単独発表 〇〇賞受賞 研究発表の題目，研究発表会名，開催年月日，単独発表・代表発表・共同発表の別を記入すること。
イ	大学院設置基準(昭和49年 文部省令第28号)第16条に 定める特定の課題についての 研究成果	学内 学外	特定の課題についての研究の成果が優れている	
ウ	著書，データベースその 他の著作物 (上記2つに掲げる者ものを 除く。)	学内 学外	著書を出版又は、データベースへ登録される	「△……………」著書・データベース名，〇〇出版，令和2年〇月〇日，単著
		学内	大学発行誌に掲載される	「△……………」題目，大阪教育大学紀要〇巻×号，令和2年〇月〇日，単著
		学外	学会誌，学術雑誌，新聞等に掲載される	「△……………」題目，〇〇学会誌・第〇号，令和2年〇月〇日発行，共著
エ	発明	学外	特許取得	出願の内容，登録番号・登録年月日を記入すること
			実用新案取得	出願の内容，登録番号・登録年月日を記入すること
オ	授業科目の成績	学内	学業成績が優秀である	令和2年度後期までの成績において，優と秀で単位を取得した
		学外	教員採用試験又は専攻分野に関連した資格試験・採用試験に合格する	令和2年度大阪府教育委員会教員採用試験に合格(中学校・理科)
			他大学の大学院(後期博士課程)入学試験に合格する	〇〇大学大学院〇〇学研究科〇〇専攻 博士後期課程合格
カ	研究又は教育に係る補助 業務の実績	学内	ティーチングアシスタントに採用される	授業担当科目名，授業担当教員名，開講期を記入すること
			留学生チューターに採用される	任期: 令和2年11月4日～令和3年1月15日
			大学の教育又は研究活動に係るその他の補助業務に携る	大阪教育大学附属天王寺中学校非常勤講師(音楽)，令和2年4月1日～令和3年3月31日
		学外	ティーチングアシスタントに採用される	機関名，授業担当科目名，開講期を記入すること
			留学生チューターに採用される	機関名，任期を記入すること
			教育又は研究活動に係るその他の補助業務に携る	大阪市立〇〇小学校非常勤講師(美術)，令和2年4月1日～令和3年3月31日
キ	音楽，演劇，美術その他の 芸術の発表会における 成績	学外	国際，全国コンクールに出場する ※受賞した場合は必ずその旨記入すること	第〇〇回〇〇国際コンクールピアノ部門出場，第2位受賞，令和2年〇月〇日
			地方コンクールに入賞する ※受賞した場合のみ該当	第〇〇回〇〇ピアノコンクールに出場，一般の部優勝，令和2年〇月〇日
			個展，音楽会等を開催又は参加し評価される	第〇〇回神戸芸術センター定期演奏会においてバイオリンソロとして参加し，〇〇雑誌に掲載された。令和2年〇月〇日，
ク	スポーツの競技会における 成績	学外	国際，全国競技会に出場する ※受賞した場合はその旨記入すること	第〇〇回全日本〇〇大会に出場，令和2年〇月〇日，第3位入賞
			地方競技会に入賞する ※受賞した場合のみ該当	第〇〇回関西学生選手権大会に出場，令和2年〇月〇日，第2位入賞
ケ	ボランティア活動その他の 社会的貢献活動の実績	学内 学外	専攻分野に関連したボランティア活動等に参加し，学内又は社会的に高い評価を受ける	飛鳥川環境教育プロジェクトにおいて飛鳥川に生息する生物・植物の保全に携わった，平成30年4月から コカコーラ環境教育賞受賞，令和2年〇〇月〇〇日